



2024. 5 No. 98

- ・地元木材を活用した庁舎建築の取組（経理課）
- ・地域林業の活性化に向けた取組（留萌北部森林管理署）
- ・こんにちは森林官です！（厚田森林事務所）
- ・若手職員のコーナー（網走西部森林管理署 西紋別支署）
- ・働く森人シリーズ（林業作業動画）





【はじめに】

木材は、断熱性が高く、調湿作用があり、目を与える刺激が小さいなど、人に心地よい感覚を与える素材です。

木材を建物や家具にたくさん利用し、手入れをしながら大事に使い続ければ、木材の中に固定された炭素をそれだけ多く、長い間蓄えることになり、大気中の二酸化炭素の濃度が上昇するのを抑えるのに役立ちます。つまり、木造建築物を増やしていくことは、街にもう一つの森林を造ることと同じような効果があるといえます。

北海道森林管理局では、外装・内装に地元木材を使用するとともにCLT(直交集成板)などを積極的に活用し、地域にやさしい木造庁舎の建築を目指しています。

昨年度建築した森林技術・支援センターと上川北部森林管理署士別森林事務所の合同庁舎について紹介させていただきます。

【新庁舎紹介】

森林技術・支援センター旧庁舎は、昭和28年に士別営林署として建てられたものですが老朽化が進み新築建て替えを行いました。

新庁舎の概要

- ・所在地 士別市
- ・構造 木造平屋建
- ・規模 延面積 357㎡

建物の特徴

<利便性の向上>

- ・執務室を南面配置とし自然採光に配慮しました。
- ・森林技術・支援センターと森林事務所の共用部を各々から使いやすいよう集約しました。
- ・誰もが利用しやすいよう到来者の動線上に段差をなくしました。

- ・多機能トイレを使いやすい位置に設けました。
- ・全館LED照明の採用やペレットストーブを設置しました。



執務室入口



ホール・多機能トイレ



玄関ホール・ペレットストーブ

<周辺環境との調和>

- ・周辺レンガ造りの建物と調和する色彩を外壁のアクセントカラーとして用いました。
- ・地域に親しまれる既存樹木を活かしました。

<環境負荷低減の推進>

- ・除雪作業がスムーズに行えるよう、堆雪スペースまで片押しで除雪できる構内としました。
- ・屋根の張り出しにより雪庇等による外壁面への影響を軽減しました。



外壁（レンガ調カラー）

木材利用の促進

- ・外壁面の一部を下見板張りとしました。
- ・風除室・ホールの内壁を羽目板張りとし、木材の温もりある建物としました。



外壁（トドマツ・カラムツ・エゾマツの下見板張り）

- ・扉の一部を木製建具として、CLTを庁名板・パーティション等に用いました。（木材は、トドマツ・カラムツ・エゾマツ・ナラなどの地元木材を多く使用）



パーティションにCLTを活用

【今後に向けて】

日本は国土の約3分の2を森林が占める世界でも有数の森林国。その森林の約4割は人が苗木を植えて育てた人工林です。

現在、戦後に造林された多くの人工林が、本格的な利用期を迎えており、資源量は年々増加していますが、木材の利用は十分に進んでいないのが現状です。

木材の良さを地域の皆さんに知ってもらい利用していただくため、今後も地元木材を使用した庁舎の建築に取り組んでいきます。



会議室

【森林技術・支援センター】

豊かな北の森林資源を未来へと引き継ぐために地域の森林の特性に応じた多様な森林づくりとして、北方の森林生態系の特質に応じた施業技術の開発とその普及・支援などを行っています。

【上川北部森林管理署 士別森林事務所】

国有林の管理を行いながら山地災害などから暮らしを守り、木材を循環的に利用できる森林づくりを行っています。

また、上川北部森林管理署と地元自治体等のパイプ役として、情報の収集発信など、地域の窓口としての役割を果たしています。



森林事務所

地域林業の活性化に向けた取組

留萌北部森林管理署

【はじめに】

留萌北部森林管理署は、北海道北部の西海岸域に位置し、留萌北部流域3町1村（羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町で約170千ha）に広がる面積約96千haの国有林を管轄しています。

流域内の約8割が森林に覆われ、このうち国有林は約7割を占めており、地域の重要な水資源のかん養、山地災害の防止、自然環境の保全など森林の持つ公益的機能を発揮し、生活環境の保全・形成に重要な役割を果たしています。

流域内では、北見山地の天塩岳を源とする北海道第2位の大川「天塩川」が北流し、天塩町において西流して日本海へと注ぎ込み、その他多くの中小河川が天塩山地の西側を流れ下り日本海へと注ぎ込んでいます。

管内の国有林には、海岸部では多くの防風保安林があり、風害等による被害を防備する役割を果たしています。

【低コストで効率的な施業の推進】

平成23年に当署、留萌振興局、初山別村、遠別初山別森林組合の4者で森林整備協定を締結し、初山別森林共同施業団地内において、連携して間伐などの森林整備を行うことができないか、毎年運営会議を開催し、検討を重ねています。

令和5年度については、路網整備や間伐の実行箇所など連携して取り組む新たな候補地を見出すことができませんでしたが、協定に基づいた森



林教室を初山別村交流センターにおいて開催し、



初山別小学校1～6年の12名の児童を対象に樹木及び動物のクイズを行ったり、実際に木材に

触れたりすることを通じて森林に対する知識と関心を持っていただきました。

また、留萌北部署管内の4町村の林務担当者及び留萌振興局森林室の職員などに集まっていたとき、低コスト造林に係る低密度植栽や下刈省力化について現地勉強会を開催し、当署の取組事例を紹介したことで、それぞれのメリットについて理解を深めていただいたところです。



【今後に向けて】

留萌振興局森林室、町村林務担当者、森林組合関係機関等が参集した運営会議を開催し、地域林業の推進に向けた取組の一環として、森林教室を合同で実施するほか、新しい林業の推進に向けた低密度植栽、下刈作業の省力化・軽労化をテーマとした現地勉強会の開催など、連携した取組や情報交換を今後も引き続き展開していくこととしています。

こんにちは 森林官です!

石狩森林管理署 厚田森林事務所

首席森林官（厚田、当別担当区） 清水口 英

厚田森林事務所の概要

管轄する国有林は石狩市 17,060 ha（防風林 50 ha 含む）、当別町 2,570 ha（防風林 120 ha 含む）、新篠津村 40 ha（防風林 40 ha 含む）となっており、部内には厚田川があり支流を含めて全域が保護河川で、全面禁漁となっています。

厚田森林事務所は、石狩振興局管内の石狩市厚田区に位置し厚田川沿いの市街地に所在しており、平成 22 年に庁舎を建て替え現在に至っています。



獅子内防風保安林（当別町）

地域の紹介

管轄区域内は、石狩市・当別町・新篠津村の 3 市町村からなり、南北に長く位置し冬季間は風雪がとても強く管内にある防風林が風雪を防ぐのに役立っています。

各地域の特徴としては、石狩市については、札幌市のベットタウンとして宅地化が進み、石狩湾新港と工業団地により発展し、厚田区では漁業や農業も盛んです。

当別町については、農業が基幹産業であり米と切り花の生産が盛んです。北欧の環境を感じさせるスウェーデンヒルズの住宅街は電線と電話線が地中にあり、優れた景観となっています。

新篠津村についても農業が基幹産業であり、米の生産が盛んです。環境にやさしい地中で分解される天灯（ランタン）を使用した新篠津天灯（ランタン）祭りが行われています。

林業の特色

平成 30 年度から、石狩市森林整備推進協定を、石狩市と石狩森林組合と石狩森林管理署の 3 者で締結しており、協定期間が満了したことから令和 5 年に協定を更新・締結し、森林整備と路網整備を令和 9 年度まで協力して行っていくこととしています。



今後とも、森林官として国有林を管理するに当たり、地域からの要望に迅速な対応を心掛けるなど、きめ細やかな行動を行っていきたくと考えています。

最後に

厚田森林事務所の管理する国有林は海や農地に接し、農業と漁業が盛んな地域に位置していますので、市町村担当者や地域住民との情報共有を大切にし、農業・漁業・林業ともに連携して発展していけるよう目指し、信頼され開かれた国有林と思われるよう対応していきたくと思っています。

も 森 林 の 話

若手職員のコーナーです

第31話
網走西部森林管理署
西紋別支署
桑原 紫苑

三年間お世話になった網走中部森林管理署から異動になり、フレッシュな気持ちで網走西部森林管理署 西紋別支署に着任して早一ヵ月が経ちました。5月頃になると動いてるのに寒い時間と動いてないのに暑い時間が同じ日にあるので体調管理に気を付けたいところです。

さて、現在の担当する業務について語るには、いささかフレッシュ過ぎるので、昨年度から継続して参加させていただいている広報ワーキングチームについて書いていこうと思います。

【広報ワーキングチームについて】

北海道森林管理局には、令和4年度から道内各地に散らばっている森林管理署等から有志を募り、広報業務の企画・実行を担う広報ワーキングチームというフレッシュなチームが設置されています。

活動内容は広報全般を広く手掛けており、森林や林業について知ってもらう動画の撮影や外部の方々と協力してのイベントの開催、今年度にはSNSアカウントの運営も予定されています。

全体が精力的に動いており「まずはやってみよう」といった雰囲気運営されているので、フレッシュな活動が多く試行錯誤が楽しいチームです。

【活動の内容】

そもそも広報ワーキングチームが置かれた目的とは、現代の情報発信の多様化・高度化に対応するため、様々な企画・具体的発信をするということが期待されてのことです。

その目的に準じて、現在多くの企画グループが発足されています。

私は主に動画関係に携わっており、動画の絵コンテを作成するほか、時には自分自身が出演することもありました。

出演した動画は公開中です。

こちらから



(<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/movie/index.html>)

これまでの広報ワーキングチームで作成した動画が視聴できるようになっておりますのでぜひ時間がある際に見てみてください。(高評価とチャンネル登録もよろしくお願いします。)

他にもキッズページ



(https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kids_page/index.html)

の作成や今現在動いている企画も様々ございますので、今後の活躍に期待したいです。

【おわりに】

「林業」は現在あまり一般の方に馴染みがなく、主に山の中での仕事となることからこういったことをやっているのかよくわからないという方も多くいると思います。

こういった広報活動によって、少しでも色々な方に「林業」について知っていただければいいなと思います。



林業のリアルな作業現場と生の声を 動画でお届け！

働く森人シリーズ

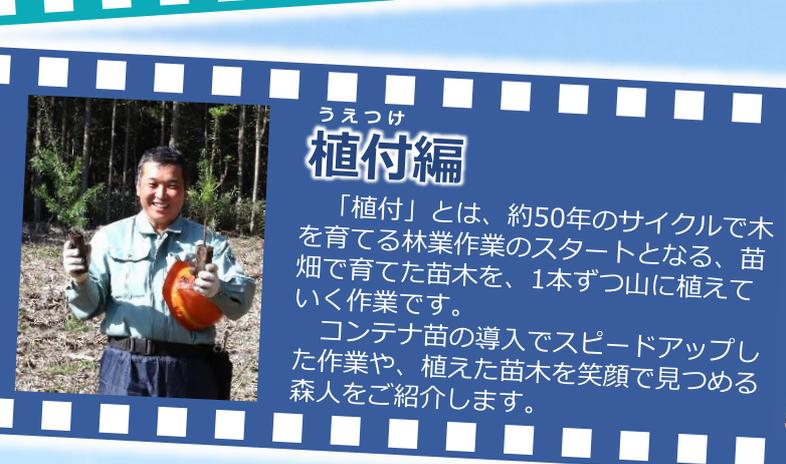


じごしら 地拵え編

「地拵え」とは木を伐採した跡地で次世代の森となる苗木を植える前に、散乱した伐採木の枝葉や残存木などを取り除き、地面を整える作業です。女性作業員や、重機の活躍にもぜひ注目ください。



制作：北海道森林管理局



うえつけ 植付編

「植付」とは、約50年のサイクルで木を育てる林業作業のスタートとなる、苗畑で育てた苗木を、1本ずつ山に植えていく作業です。

コンテナ苗の導入でスピードアップした作業や、植えた苗木を笑顔で見つめる森人をご紹介します。



したがり 下刈り編

「下刈り」とは山に植えられた苗木が繁茂する草本に覆われないよう、下草を刈り取る作業です。ベテラン作業員の正確で滑らかな刈払機さばきは必見です。



下刈り編

これが…

光…？

「日本のお山アゲ隊 働く森人シリーズ」

番外…冬の森林官編



北海道の面積の3割以上を占める国有林。その現場最前線で働く北海道森林局の「森林官」の仕事もぜひのぞいてみてください。



撮影協力：堀川林業株式会社 株式会社小玉 株式会社イワクラ 道央森林整備事業協議会
協力：北海道水産林務部林業木材課 林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部

撮影・制作：林野庁 北海道森林管理局 広報ワーキングチーム

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

地域のもりから学ぶ 森林づくり「第1回 森林教室（定山溪小 学校・中学校）」



【石狩地域森林ふれあい推進センター】

5月9日に、定山溪国有林の三笠緑地で、札幌市立定山溪小学校の5・6年生と定山溪中学校1・2年生を対象に今年度第1回目となる森林教室を開催しました。

この森林教室は、平成25年に地元の生徒たちがカタクリなどの希少植物の保護活動を開始したことをきっかけに始まり、ここ数年はカタクリやエゾエンゴサクの開花個体数を数える植生調査や、植生回復にむけた保護活動を行っています。

ふれあい木エクラフトが大盛況



【釧路湿原森林ふれあい推進センター】

4月27日～5月6日の10日間、釧路市こども遊学館で、GWイベント2024「木のおもちゃであそぼう！」が開催され、「くしろの木クイズラリー」やおがくずを使った「エコ木ねんど」といった様々な催しが行われました。釧路湿原森林ふれあい推進センターでは、4月27日・28日の2日間、マツボックリやドングリ、木の枝・輪切りといった森林の素材による、ふれあい木エクラフトを開催しました。

札幌市立清田高校の総合的な探究の時間で基調講演



【企画課】

4月10日に、札幌市清田区にある市立清田高等学校で、総合的な探究の時間「さっぽろ探究」が実施され、竹中工務店と札幌市みどりの管理課、北海道森林管理局による合同基調講演が開催されました。今回の基調講演では、2年生約230名を対象に、まずは清田区の森林に目を向けてもらうこと、そして地域の課題として人と森林・林業・木材の関係を取り上げ、解決するアイデアを出してもらうことを目標に話題を提供しました。

「北海道・木育フェスタ2024開会式」及び「緑の募金」出発式



【企画課】

5月11日に、北海道庁本庁1階ロビーホールで「森林づくり」や「木づかい」の一連のイベントを一体的に行う「北海道・木育（もくいく）フェスタ」の開会式を北海道・公益社団法人北海道森と緑の会・林野庁北海道森林管理局の主催で開催しました。「北海道・木育フェスタ」は、道民参加による協働の森づくりを進めることを目的に行われており、「第74回北海道植樹祭」、「木育ひろばinチ・カ・ホ」などの催しを予定。開会式はこれら一連のイベントのスタートとなります。

広報 「北の森林 国有林」5月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

【今月の花 シラネアオイ】

今月はシラネアオイの写真を表紙右下に掲載しました。花言葉は「完全な美」です。これからの季節は綺麗な花を見られる機会も多くなりますね。



今月の表紙